

宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答している生徒の割合は81.3%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「自分には、よいところがあると思う」と回答している生徒の割合は80.2%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」と回答している生徒の割合は56.9%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる」と回答している生徒の割合は90.9%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

自己肯定感が高く、多くのことに挑戦している生徒が多数いることがわかる。授業の中でも、自分と異なる考えに触れることにより自分の考えを深めることができるような授業を工夫して行っていく。また、クラスの中での信頼関係を深め自分の意見を出しやすい雰囲気さをさらに高めていきたい。

○「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合は79.5%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「授業で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしている」と回答した生徒の割合は81.3%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

●「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問では、3時間以上と回答した生徒の割合は4.0%で、2時間以上3時間より少ないと回答した生徒の割合は21.6%で全国平均と栃木県平均を下回っている。

普段、学校の授業時間以外で全く勉強をしない生徒の割合は少ないが、全体的に勉強時間は少ないといえる。各教科で、毎日適度な宿題を出すなどの工夫をし、今後はその質と量を改善していく必要がある。

○「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合は87.5%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「学校で、好きな授業がある」と回答した生徒の割合は87%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

○「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合は94.3%で全国平均と栃木県平均を上回っている。

今後もいきいきとした学校生活を送れるよう、授業や学校行事等で達成感や自分の成長を感じることができるような取組を継続していく。

宇都宮市立鬼怒中学校 (第3学年)
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
○学力向上を図るため、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化、基礎・基本の定着度を高める。	○基礎的な力を身に付けさせるための夏休みや放課後を利用した補充学習の実施 ○教員の授業力向上を目指した一人一授業 ○教員の授業研究会の持ち方の充実	○自己肯定感が高く、「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」「友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。」と回答している生徒の割合は全国・県の平均を上回っている。 ○「将来の夢や目標を持っている」「授業で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしている」に対する肯定率は全国・県を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問では、勉強時間が全国・県の平均を下回り、全体的に勉強時間が少ない。	○家庭学習の仕方の具体的な指導	○各教科で効果的な学習の仕方を具体的に指導したり、毎日適度の宿題を出すなどの工夫をしていく。